

学校名	帯広畜産大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 「総合臨床学実習Ⅰ」（5年前期）において、診療車を導入することにより、従来に比べて少人数による実習機会が確保され、臨床実習の効率化が図られる。併せて、臨床実習にポータブルカラードップラー超音波診断装置等を導入することにより、学生がより質の高い診療技術を習得することが可能になるなど、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 共同教育課程の実施を検討している北海道大学との連携を更に強化し、臨床実習のより一層の活性化に努めていただきたい。
- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	岩手大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 「大動物内科学実習」「大動物外科学実習」「臨床獣医学繁殖実習」（4年次）や、「総合臨床学実習」（5年次）において、超音波診断装置や内視鏡機器、心電音測定装置等の設備の有機的活用を図ることにより、これまでの見学型実習から参加型実習への展開が図られ、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 共同教育課程の実施を検討している東京農工大との連携を更に強化し、臨床実習のより一層の活性化に努めていただきたい。
- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	岐阜大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 産業動物臨床実習に関する新たな短期プログラムの開発により、超音波診断装置等を活用し、生きた動物を用いた基本的な手技を習得することが可能となる他、牛用超音波卵胞内卵子経膈採取装置の導入により、受精卵移植実習が充実するなど、より高度な実習が可能となることから、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 現在、教育面での協力を進めている鳥取大学との連携を更に強化し、臨床実習のより一層の活性化に努めていただきたい。
- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	宮崎大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 顕微鏡ビジュアル教材記録・映写システムと症例動画をリンクさせたビジュアル教材を作成することにより、学生の導入教育や臨床実習における学修支援を図ることが可能となり、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 当該ビジュアル教材が、全国の獣医系大学の臨床実習に資するものとなるよう、全国的な利活用のシステムの構築が望まれるとともに、教育面における他大学との連携を更に強化し、臨床実習の一層の活性化に努めていただきたい。
- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	鹿児島大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 診療車や家畜輸送車の導入により、農場等における産業動物診療や野外では対応困難な高度診療が可能となり、参加型臨床実習の機会がより多く確保され、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 共同教育課程の実施を検討している山口大学との連携を更に強化し、臨床実習のより一層の活性化に努めていただきたい。
- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	大阪府立大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 大阪府食とみどりの技術センター等の関係機関、団体との連携を強化することにより、現場臨床教育の充実が期待できる。
- ・ 「大動物臨床A」（5年次後期）や「獣医繁殖学実習」（3年次後期）において、血球計数装置や臨床化学分析装置等を活用して、生産獣医療に対応できる実践的な技術を身につけさせることが可能になるなど、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	酪農学園大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 小グループの学生と教員による往診実習において、携帯型超音波装置を導入することにより、学生がより高度・実践的な診療スキルを獲得することが可能となり、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	北里大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野における臨床教育・実習の実績が十分にある。
- ・ 大動物総合臨床学実習（5年次前期）、大動物病院実習（5年次後期）、大動物臨床実習・演習（6年次前期）において、大動物用移動手術台等を新たに一台導入することにより、動物種毎の外科学実習の充実が図られるとともに、ハンディータイプのX線装置や超音波診断装置の導入により、学外往診においても、往診による参加型実習が可能になり、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

平成22年度 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備 審査結果表

学校名	麻布大学
取組分野	1. 産業動物分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 産業動物分野において臨床教育・実習の実績がある。
- ・ 牛・豚の実習用等身大模型の導入により、患畜を対象とした獣医療行為を実施する直前に、レプリカを用いての直腸検査や採血などの診療技術の疑似体験が可能となり、学生が獣医療行為をスムーズに実施できる他、カラードプラ付デジタル超音波診断装置や赤外線サーモグラフィーの導入により、血流の変化や炎症部位の確認など、より実践性の高い実習が可能となるなど、臨床実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。